

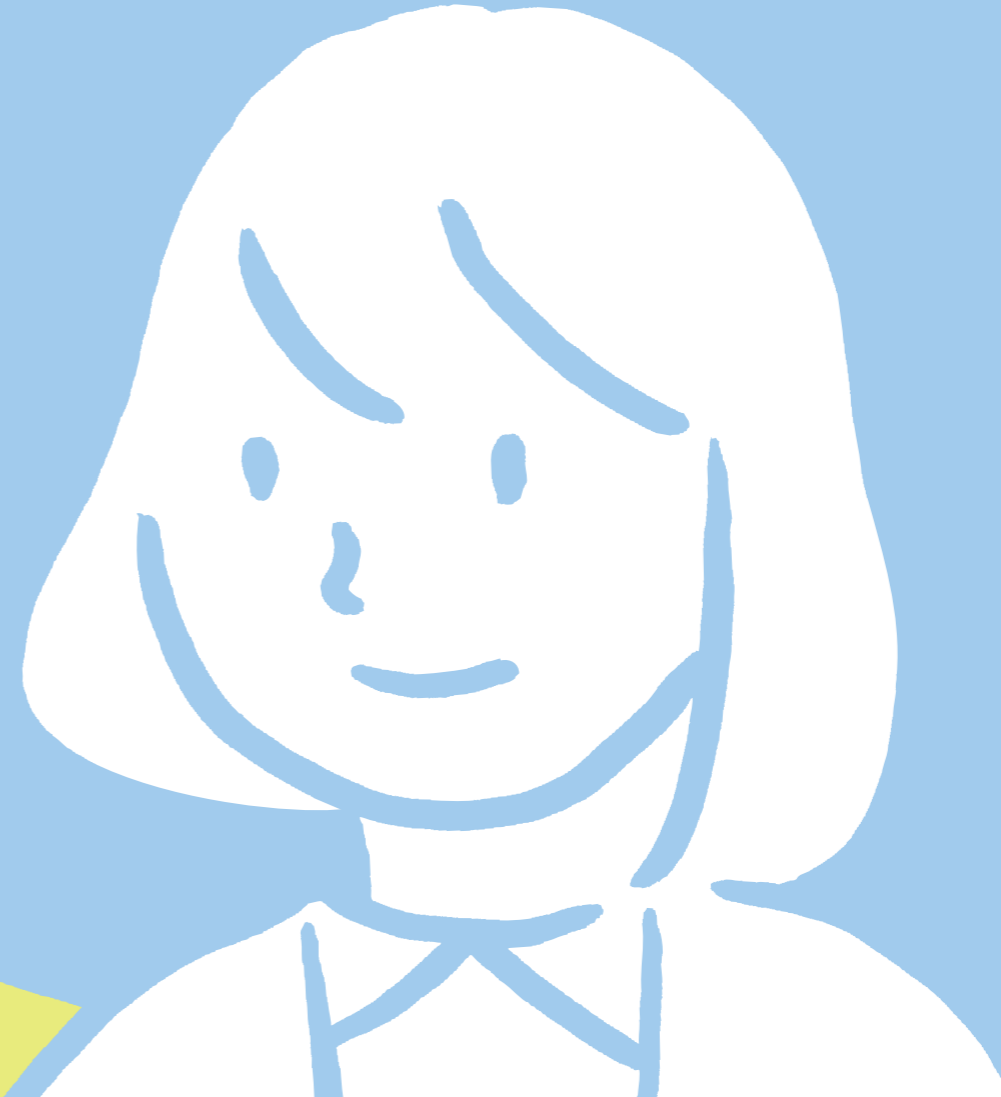


北朝鮮による
日本人拉致問題の
解決に向けて
私たちにできることが
あります

たいせつな人を
とり戻すために



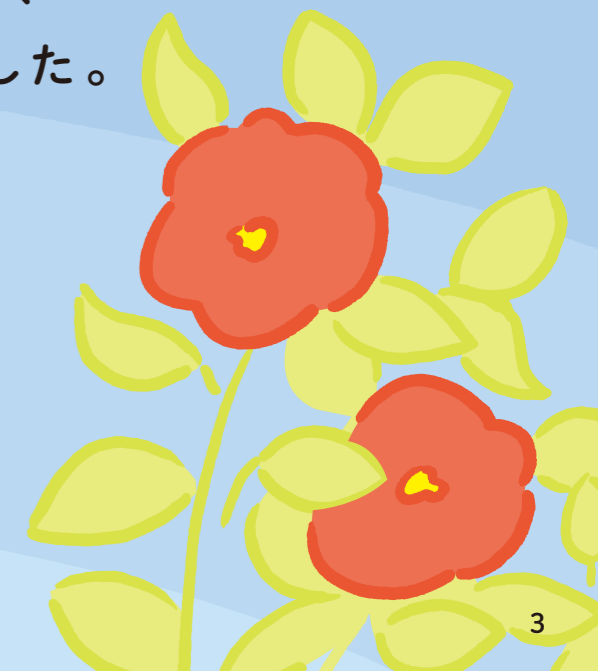
政府 拉致問題対策本部



政府 拉致問題対策本部

家族が拉致されたまま、
帰ってこない…

拉致は、本人が望まないのに連れ去ることです。
1970年代から1980年代にかけて、
北朝鮮が多くの日本人を拉致しました。



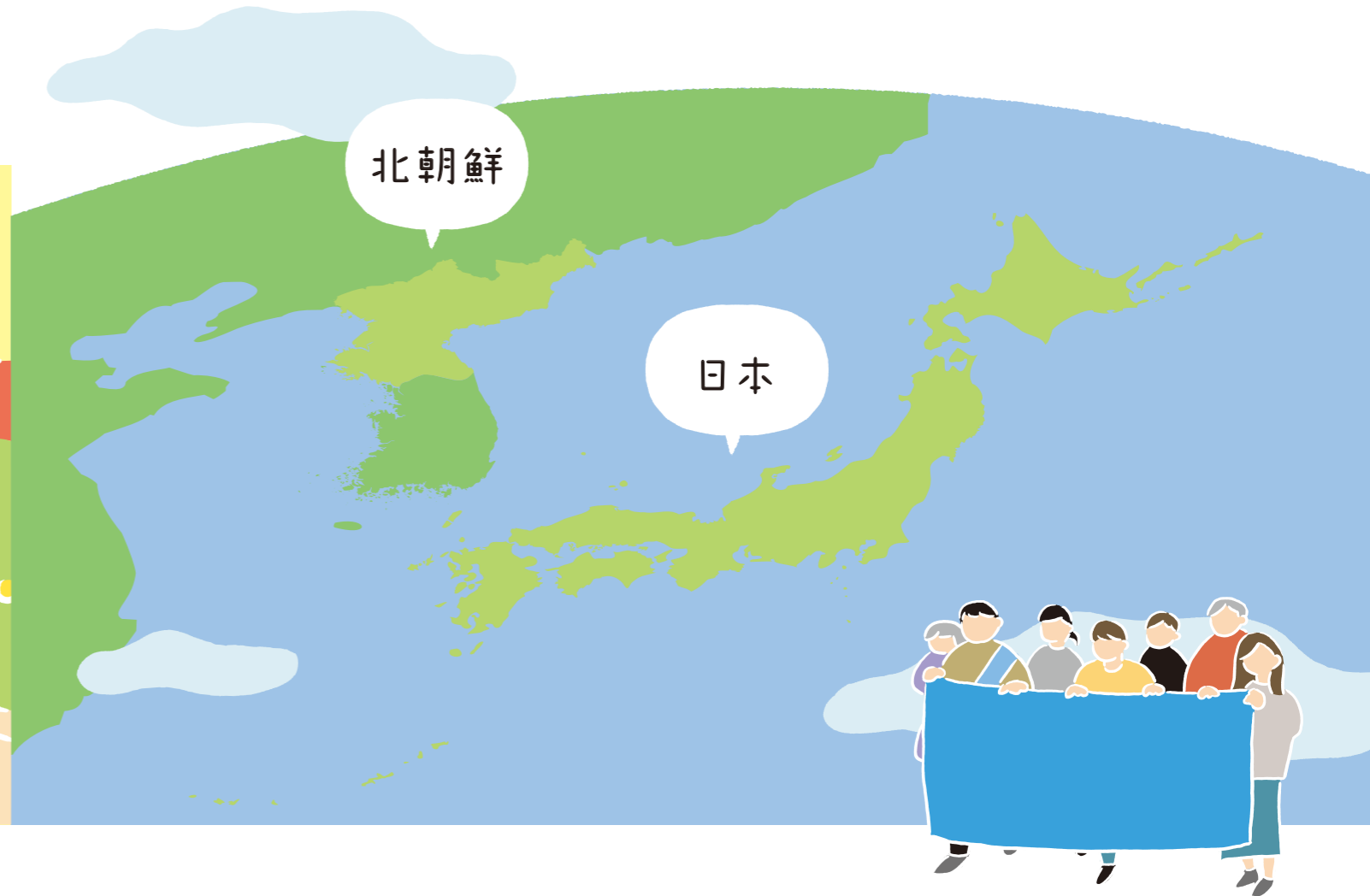
いってきます！

いつものように、朝ご飯を食べて、学校へ。
いつものように、バドミントン部の練習を終えて
いつものように、元気に帰宅するはずでした。



1977年11月15日の夕方、新潟の街から忽然と姿を消した、横田めぐみさん。まだ、13歳でした。

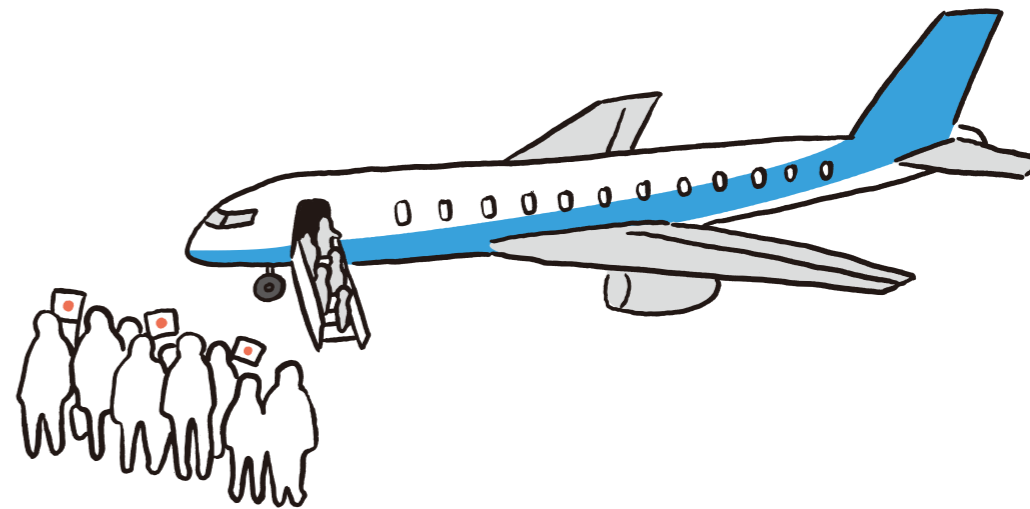
めぐみさんと同じように、
多くの日本人が北朝鮮に拉致されたままです。



日本政府は、めぐみさんを含む17名を拉致被害者として認定しています。
しかし、拉致された可能性を否定できない800名以上についても捜査・調査を続けています。

一刻も早く返してほしい

日本は北朝鮮に強く働きかけ、
5名が帰国しました。



北朝鮮は、日本人を拉致したことを
長い間、認めていませんでしたが、
2002年9月、初めて認め、謝罪しました。
そして、拉致被害者17名のうち、5名が
24年の歳月を経て家族が待つ日本に
帰国しました。



すべての拉致被害者の帰国を！

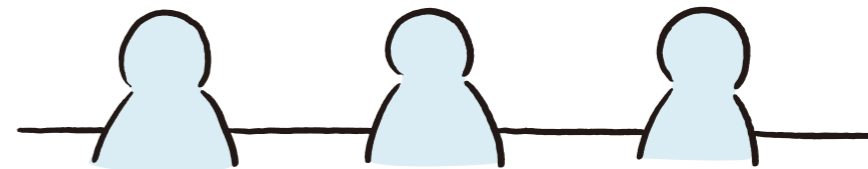
まだ多くの人々が拉致されたままです。
日本は北朝鮮に強く抗議し、
すべての拉致被害者の
一日も早い帰国を求めています。

北朝鮮が示した証拠は
納得できない！



生きている拉致被害者は
全員日本に帰国した

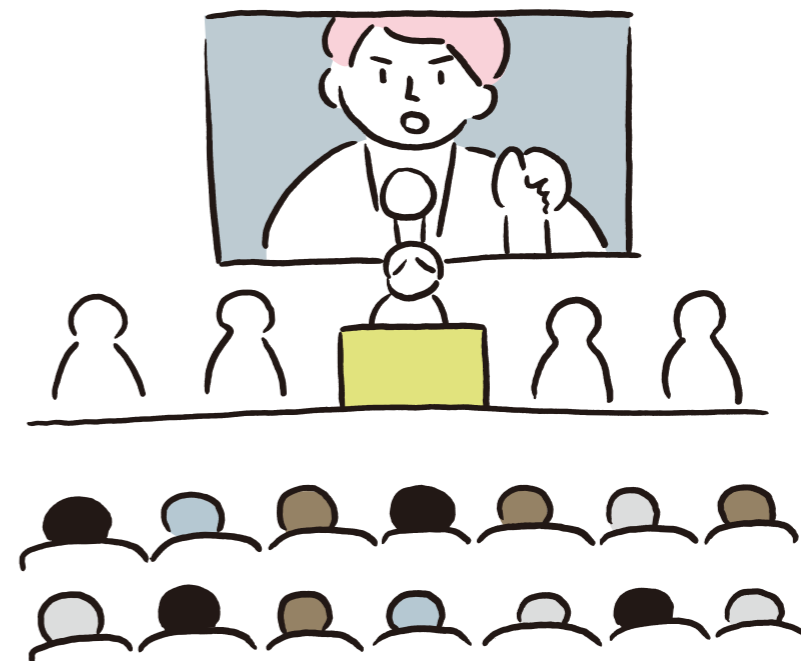
残りの人は死亡したか、
北朝鮮に入っていない



北朝鮮は「もう解決したこと」と説明し、なかなか動こうとしません。
証拠として示されたものは、どれも不自然で矛盾も多く、納得できないものばかりです。

決してあきらめない

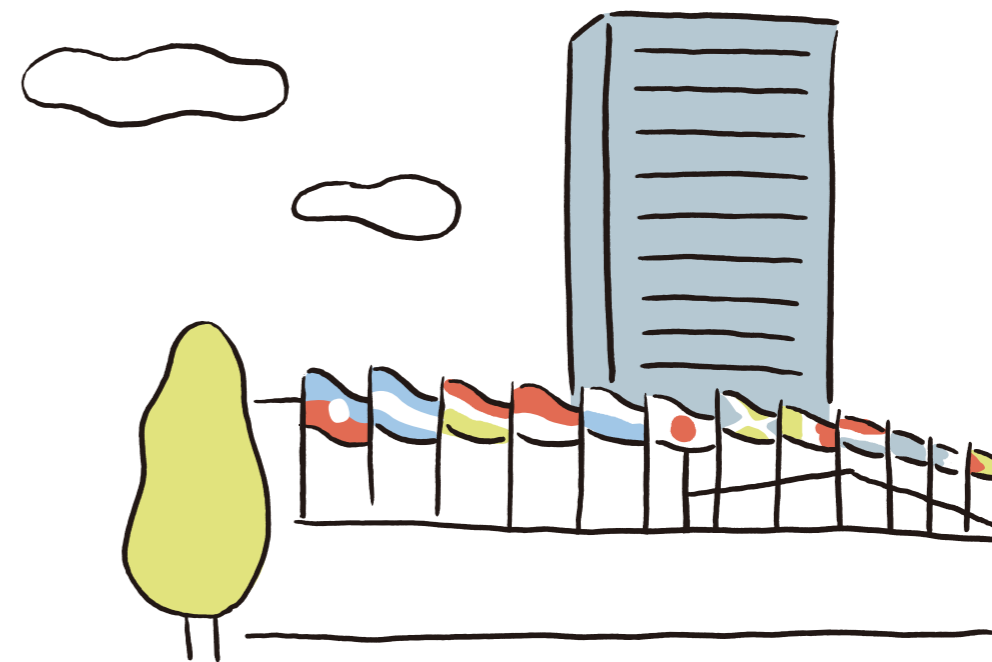
日本政府は、各国に対し、
理解と協力を求めています。



北朝鮮は、2014年5月、拉致の可能性を否定できない人の
再調査を約束しましたが、その約束は果たされないままです。
北朝鮮に囚われた拉致被害者たちは、今もなお、救出を待っています。
日本政府は、拉致問題の解決に向けて
北朝鮮に対してさまざまな形で働きかけています。

世界各国はどう思っているの？

国際社会も、北朝鮮に対して
拉致被害者の帰国を強く求めています。



北朝鮮による拉致被害を受けたのは日本人だけではありません。
国連によると、韓国、レバノン、タイ、マレーシア、シンガポール、
ルーマニア、フランス、イタリア、オランダ、中国などでも
北朝鮮による拉致被害が確認されています。

わたしたちに何ができるの？

拉致問題は決して、
昔の話ではありません。




「日本に、家族のもとに、帰りたい」「大切な家族を取り戻したい」
私たちは、その切実な思いに寄り添い、
一日も早くすべての拉致被害者が帰国できるよう、
一人ひとりが関心を寄せ続け、伝え合うことが、
解決に向けて、大きな力となります。

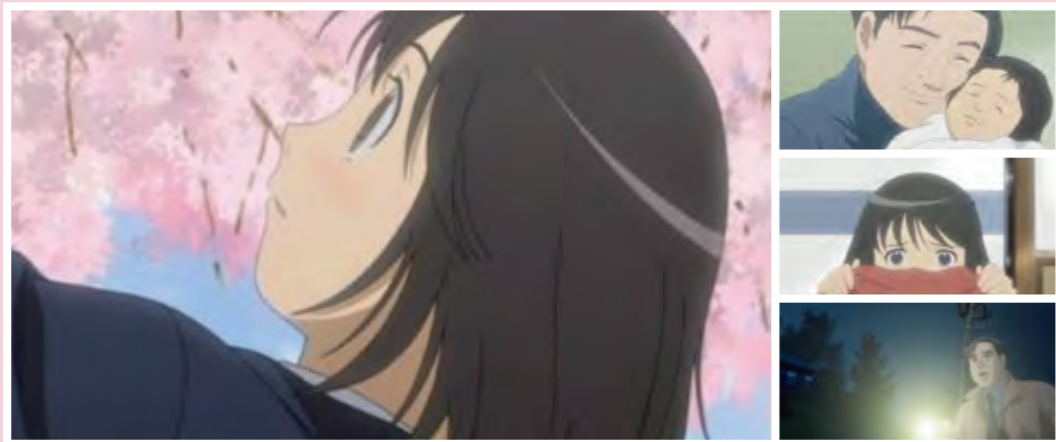
もっと拉致問題を知ろう。
そして、伝えていこう。

拉致問題の動画チャンネルがあります。

YouTube公式動画チャンネルでは、アニメ「めぐみ」や
拉致被害者御家族のメッセージ動画などを配信しています。

 YouTube <https://www.youtube.com/c/rachitaichannel>

アニメ「めぐみ」(拉致問題啓発アニメ)



横田めぐみさんが拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や
懸命な救出活動を描いた25分のドキュメンタリー・アニメです。

キャスト：高山みなみ(横田めぐみ)、山寺宏一(横田滋)、深見梨加(横田早紀江)



パソコン、タブレット、
スマートフォンなどで
閲覧できます



電子図書館もご利用ください。

『らちもんだいたいさくほんぶ電子図書館』

<https://web.d-library.jp/rachitai/>

らちもんだい
たいさくほんぶ  電子図書館



貸出作品

漫画「母が拉致された時
僕はまだ1歳だった」



拉致被害者の田口
八重子さんの帰りを
待ち続けている長
男の飯塚耕一郎氏
に焦点をあてた漫画
です。

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校(義務教育学校、中等教育学校含む)に
無償貸し出しをしています。

大の字に寝っ転がって、
「自由だよー！」って言わせてあげたい



めぐみさんのお母さんは何気ない日常のしあわせを取り戻したいと願っています。